

## 資料①-2

社会福祉士部会活動報告資料

# 令和2年度 枚方市地域包括支援センター 社会福祉士部会活動報告

## 1. 社会福祉士部会の開催（毎月定例開催）

開催日時・場所	議 案 内 容	出席状況
4月	コロナ感染拡大防止のため開催中止	
5月	コロナ感染拡大防止のため開催中止	
6月19日 10時00分～ 市民会館	1.市役所より 部会担当職員の紹介 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→虐待ネットワーク会議開催日程について（日程調整中） 消費者被害対策・事業チーム→消費生活支援センターが新デザインステッカーを作成 「訪問お断りステッカー」、令和元年度見守り110番事業の活動評価の店舗配布について 認知症合同チーム→コロナの影響で認知症サポーターステップアップ講座休止 ・多様な世代への認知症啓発について、認知症初期集中支援チームの検討継続 3.その他（情報交換）任意後見・成年後見の手引きの改定	包括職員16名 健康福祉部職員2名
7月17日(金) 10時00分～ 市民会館	1.市役所より リハ職行為評価事業の利用について・情報共有施設空き状況一覧表の検索方法について 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→会議の準備（タイムスケジュール等の確認） 消費者被害対策・事業チーム→枚方市消費者安全確保地域協議会の開催（10月予定） 消費者被害お知らせ便の情報提供の方法について（民生委員宛） 認知症合同チーム→医師会より認知症の動画啓発資料の活用について（作成・配信） 3.その他（情報交換）成年後見制度の手引き見直し、重層的支援体制整備事業の取り組みについて コロナ禍での今後の部会の運営方法について	包括職員16名 健康福祉部職員2名
8月21日(金) 10時00分～ 市民会館	1.市役所より 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→虐待防止ネットワークについて(ブロックでの開催案・会場・人数・内容確認) 消費者被害対策・事業チーム→8/27消費生活センター打ち合わせ「消費者安全確保地域協議会」 認知症合同チーム→初期集中支援チームの検討 チームドクターと開業医の連携課題等 3.その他（情報交換）みまもりあいステッカーについて（現状報告） ・徘徊SOSの広域発動について・ペットの一時預かりについて	包括職員15名 健康福祉部職員1名
9月	コロナ感染拡大防止のため開催中止	
10月16日(金) 10時00分～ 市民会館	1.市役所より→「医師会作成のエンディングノート」、「終末期に向けてのチラシ」の啓発・配布について 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→虐待介入ネットワークR3年1月～2月開催予定 消費者被害対策・事業チーム→消費者安全確保地域協議会の会議参加 認知症合同チーム→医師会作成DVDのYouTubeの啓発 認知症サポーターステップアップ講座について（内容検討） 認知症初期集中支援チームとの意見交換会開催について 3.その他（情報交換）コロナ禍での部会の運営について	包括職員16名 健康福祉部職員2名

開催日時・場所	議 案 内 容	出席状況
11月20日(金) 10時00分～ 市民会館	1.市役所より みまもりあいステッカーについて（窓口の追加、チラシ内容更新） 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→虐待介入ネットワーク令和3年度へ延期の決定 消費者被害対策・事業チーム→10/29消費者安全確保地域協議会出席報告 SOSネットワークマニュアルの発動について（発動ルールの検討・確認） 認知症合同チーム→認知症サポーターステップアップ講座内容検討 認知症初期集中支援チーム意見交換会開催について 3.その他（情報交換）	包括職員15名 健康福祉部職員1名
12月	コロナ感染拡大防止のため開催中止	
1月15日(金) 10時00分～ オンライン会議	1.市役所より 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→次年度の方向【介護保険事業所など関係機関のネットワークを強化】 引き続き虐待介入ネットワーク会議の次年度実施について 消費者被害対策・事業チーム→来年度継続した消費生活センターとの連携ネットワーク構築 認知症合同チーム→来年度の取り組みについて 認知症初期集中支援チームや認知症サポーターステップアップ講座等の医師会との連携 3.その他（情報交換）次年度の事業計画、チーム編成、役員について	包括職員15名 健康福祉部職員2名
2月19日(金) 10時00分～ オンライン会議	1.市役所より 枚方市版人生まるわかりガイド（市と医師会合同作成）啓発を。 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→特になし 消費者被害対策・事業チーム→見守り110番集計評価作成 UR都市機構との連携(見守り110番登録依頼) 認知症合同チーム→認知症地域推進員への役割移行について 3.その他（情報交換）消費者被害について情報共有	包括職員14名 健康福祉部職員2名
3月19日(金) 10時00分～ 市民会館	1.市役所より 成年後見制度（令和3年度様式変更）、みまもりあいステッカーの窓口対応について 2.各チームの取り組みについて 虐待対応検討チーム→特になし 消費者被害対策・事業チーム→特になし 認知症合同チーム→来年度の構成員の編成について 3.その他（情報交換）令和3年度作業チーム等決定、	包括職員16名 健康福祉部職員2名

## 2. 社会福祉士部会での取り組み

社会福祉士部会では、3つのチームを結成し、全包括が抱える共通した課題に取り組み、毎月の定例部会で活動を報告し、協議をもって取り組みを進めている。

(虐待対応検討チーム、消費者被害対策・事業チーム、認知症合同チーム)

### (1) 虐待対応検討チーム

#### 高齢者虐待介入ネットワーク会議の方向性についての検討・実施

平成31年2月の枚方市高齢者虐待介入ネットワーク会議にて、各職能団体よりいただいたアンケート結果を参考に、令和2年度は枚方市内を4ブロックにわけた小規模での開催を検討。地域ごとに開催することでより「顔の見える関係」の構築、連携を深めていくことを目的としていた。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年度へ持ち越しとなる。

#### 成年後見制度手引きの内容見直し

申立て書式の変更に伴い改めて内容を見直し、外部への周知などに活用

### (2) 消費者被害対策検討チーム

#### 消費者被害対策の検討

枚方市消費生活センターと共同で「新デザインステッカー訪問勧誘お断りステッカー」「マグネット」「見守り対応マニュアル」を作成、配布。

#### 消費者安全確保地域協議会への参加

13包括の社会福祉士が参加。構成団体（消費生活センター、警察、弁護士会、司法書士会、枚方市老人クラブ連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、市職員）と消費者被害に関する情報共有、や勉強会を通して、見守りネットワークの強化を図った。今後も継続して参加予定。

#### 見守り110番事業(高齢者の見守り活動)

認知症や気になる高齢者など、支援や対応が必要だと思われる高齢者の早期発見、早期支援を目的とし地域の様々な店舗に協力を呼びかけ、協力店舗から最寄の高齢者サポートセンターに相談していただけるネットワークを構築している。平成24年4月より事業を開始し、年度ごとに評価分析を行っている。(別紙参照)協力店舗には「高齢者見守り110番」のステッカーを貼付をお願いしている。今年度はUR都市機構の追加登録を行った。

#### 枚方市徘徊高齢者SOSネットワーク事業

超高齢社会に伴い、徘徊により行方不明となる高齢者が増加している。当事業において、介護保険事業所と連携し、搜索のネットワークを構築している。警察による搜索の補助的機能を担う取り組みとして平成26年4月より事業開始。年度ごとに評価、分析を行っている。(別紙参照)

### (3) 認知症合同チーム

#### 認知症サポーター養成におけるステップアップ講座について

・当初はコロナ禍で開催時期が不明であったが、令和3年度中の開催を目指して検討を開始していく。

☆令和3年9月以降の開催を目指し、単なる知識を得る講座ではなく、今後、枚方市に設置されるチームオレンジ活動に参加いただける方の養成を目指した内容で検討を開始。

講座の受講対象者（オレンジリングを所有し、地域活動に前向きの方）、開催時期（R3年9月以降）、開催内容（チーム活動の概要、認知症対応の知識、グループワークなど）と日程（2時間を2日間）などの検討を開始する。

#### 医師会との連携

・医師会が作成する認知症早期発見・受診の動画作成の助言

・作成された動画の活用、周知方法の検討

☆動画作成後に助言を実施。作成された早期発見、受診の2動画以外に、地域包括ケアシステムについての動画作成を依頼し、医師会の田邊副会長が出演し、作成される。（「早期発見」「治療について」「包括ケア」の3種）

市のYouTubeサイトに3動画がアップされ、周知はチラシにて各包括にて掲示・配布。将来的には認サポ等の講習でも使用を検討していくこととなる。（ステップアップ講座での活用等）

・医介連携事業に関して医師会事務局会議に包括も参加する。

・参加の頻度、内容、出席者などを検討する。

☆医師会より包括の出席については了解を頂く。しかしチームや包括から提案案件がない状態で出席しても傍聴するのみになるため、今後は認知症合同チームに限らず部会などでも相談、提案があれば適時、出席を打診し、定期的な出席はせず。（以降は特に出席した実績はなし）

#### 啓発について

・早期発見、受診をテーマに漫画を使った啓発ちらし

・昨年度作成したティッシュの活用

・医師会を通じて診療所等に既存のティッシュや新しいちらしの設置を打診する。

☆新たなチラシの作成には至らず、従来のオレンジティッシュの使用継続。診療所にティッシュ等の資料をおくことは医師会でも了解があり、在庫が確保できた段階で勤めていくこととなる。

#### 認知症初期集中支援チームについて

・件数増加に向けた立て直し、チーム員との意見交換等

☆発動側がメリットを感じられるチーム活動に向けて、チーム内だけでの検討には限界があり、今までの事例や発動に至らなかった認知症相談の事例なども踏まえて、チーム員との意見交換を行う。

R2年11月の意見交換ではチーム、包括が互いに気になっている内容（受診のつなぎ、主治医との連携、モニタリング等）の共有と相談を行い、今後は年に数回のチームとの意見交換や活動改善に向けた話し合いを続けていくことを確認。

☆包括への相談ケース以外に地域のケアマネさんのケースでもチームが利用できるようにケアマネ向けの周知チラシを作成し、各包括に設置。

認知症合同チームは全包括が参加しているわけではなく、検討にも限界が生じることが考えられるため、活動形態を各包括に所属する推進による会議体を設置することとなる。今年度検討した内容や課題は新しい会議体で継続して検討していく。

枚方市徘徊高齢者(行方不明者)SOSネットワーク評価票(通覧)

発動ケースNo.	登録番号	年齢	性別	事前登録	要介護認定	認知症生活自立度	行方不明日時	行方不明場所	発動依頼日時	発動依頼者	発動包括	発見日時	発見区分注)	発見者	発見場所	移動距離	移動手段	行方不明から発見	発動から発見	特記事項
1	420	84	男	有	要介護3	不明	7/8 13時30分頃	デイサービス	2020/7/8 16時	デイサービス職員	社協こもれび	7/8 16時15分		住民	市民の森近くの住宅	200メートル	徒歩	4時間	15分	
2	597	79	女	無	要介護2	不明	10/12 13時30分	施設	2020/10/12 18時42分	施設職員	東香会	10/12 19時頃		施設職員	自宅前	6km	徒歩及びバス	5時間30分	18分	
3		78	男	無	要介護1	不明	10/15 13時頃	自宅	2020/10/20 9時45分	妻	健康福祉総合相談担当									未発見
4	606	78	男	無	要介護3	不明	11月15日 19:30	自宅	2020/11/16 16時34分	ケアマネ	東香会	11/23 夕方		通行人	三ツ池	1km弱	徒歩	8日	7日	
5		66	男	無	要介護1	不明	12月2日 昼頃	自宅	2020/12/3 10時16分	ケアマネ	アイリス	12/3 時間不明		家族	自宅			約24時間	約4時間	
6	588	88	女	有	要介護1	不明	1/26 昼過ぎ	自宅	1/26 16時55分	ケアマネ	サール・ナート	1/26 18時20分頃		警察	招提のスーパー	2.5km	徒歩	約6時間	約1時間	

※情報は全てネットワーク発動時のものとする  
注)ネットワーク協力機関による発見には○、それ以外は空欄とする

# 高齢者見守り110番活動評価(R3.4.1現在)

## ①協力店舗数内訳(令和2年4月～令和3年3月末累計)

枚方市内・分類別集計	店舗数
新聞配達店	35
飲食物販売店(宅配弁当)	24
乳飲料配達店	12
接骨院・整骨院・マッサージ店	30
コンビニ	36
喫茶店・レストラン	28
金融機関	75
スーパー	41
酒店	8
米店	7
電気店・ガスサービスショップ	29
薬局・薬店	113
商店街の各店舗	68
医療機関	143
不動産・賃貸業者	9
タクシー	3
歯科	136
その他	78
水道・関電・大阪ガス	3
<b>合計</b>	<b>878</b>



令和2年度・協力店舗様からの  
通報総数は64件でした!

## ②通報例とその後の対応(令和2年4月～令和3年3月)／通報総数64件

店舗種別(通報件数)	通報例	対応
新聞配達店(3件)	新聞が溜まっている。電話をしても本人と連絡が取れない。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	新聞を配達しているが届いていないと言われたりトラブルが続いている。	把握に留めている状況
	5日前から、新聞が取り込まれていない。緊急かどうか不明だが連絡した。	安否確認の訪問により、生存を確認した(支援なし)。
飲食物販売店(宅配弁当)(18件)	昨日の弁当がそのまま。新聞もそのまま。ご本人と連絡がとれない。	安否確認の訪問により、生存を確認した(支援なし)。
	昨日の弁当がそのまま。新聞もそのまま。ご本人と連絡がとれない。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	道に座り込んだり、プラスチック製のザルを自宅に投げつけて割っている。	他機関連携し支援中。
	洗濯物が4日間干したままになっている。今までそのようなことがないので心配でチャイムを鳴らしたが反応がない。	安否確認の訪問により、死亡されていた。
	しばらくお弁当を止めてほしいと対象者ではない方から連絡が入った。止めても食事に困らないのでしょうか。	本人へ確認し配食継続。
	宅配で訪問したところ、転倒し頭を打撲された。心配なので連絡してもらえないか。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	昨日の弁当がそのまま残っていた。	家族に連絡し、支援を検討した。
	昨日の弁当がそのまま残っていた。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	水曜日に配達した弁当が残っている。	取り込みを忘れていただけで無事を確認できた。
	週1回の個別宅配がそのまま積まれていた	安否確認の訪問により、死亡されていた。
	週1回の個別宅配の注文量が二人暮らしには尋常ではない大量であり、お声掛けをしても注文訂正もされず心配。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	昨日の弁当が手つかずで残っており、携帯に連絡してもつながらない。	関係機関に連絡し、入院されていることがわかった。
	昨日の弁当が未取り込みで電話を掛けても反応がありません。	安否確認の訪問により、生存を確認した(支援なし)。
	配達した弁当がそのまま残っている。応答なく電動カートも自宅にある。	安否確認の訪問により、生存を確認した(支援なし)。
	配達した弁当がそのまま残っている。	家族の情報なく、民生委員や近隣住民からの情報を整理し、市と協議の上救急要請。生存確認後支援開始。
初回訪問したところ、お金をおろしに行くこともできず、困っておられる様子だったので相談のつてあげてほしい。	65歳未満、生活保護受給者。担当者より本人に連絡をしていただくこととした。	
昨日配達した弁当が手つかずで置かれている。	事業所より家族へ連絡し、テイ利用中であることが確認できた。	
体調が悪くて食べられないからキャンセルしたいと申し出があり気になり連絡が入る。	自宅にて衰弱されており、入院となった。	

店舗種別（通報件数）	通報例	対応
乳飲料配達店（3件）	訪問したら不在で、剪定の人が入っていて、「朝からいない。昨日の昼もいなかった」と聞き、安否確認の電話あり。	入院されていることがわかった。
	半年前はしっかりされていたが、最近話がかみ合わなくなってきた。生活は出来ているようだが心配。	包括のパンフレットをお渡し、対象者の方へお渡しいただくこととした
	独居の方で手紙を入れたり電話をしたりしているがつかない。	対象者の方の住まいが他圏域であったため、担当包括を紹介した。
喫茶店・レストラン（2件）	客の中で何度も同じことを言ったり、支払い時にお金を持っていない方がおり、対応に困っている。	今後何かあれば、その都度包括に連絡して頂けるようにした。
	店に来ている人で、ヘルパーさんを利用したいと言っている人がいる。どうしたらいいか？	訪問し、介護保険の説明を行った
金融機関（13件）	郵便書き留めの再配達の手続きをしても日程を忘れてしまい受け取れないということを繰り返し、窓口で怒っている方がいる。メモを渡しても効果なし。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	通帳の再発行、給付金の申請の記入を教えてほしいと訴えあり。2週間前に発行したところ。代理申請もできない。説明しても納得してもらえない。	家族に連絡し、支援を検討した。
	何度も銀行に来られる。印鑑を忘れたり違う印鑑を押してきたりする。本日も4回目の来店。	銀行に出向き状態確認。その後自宅訪問し印鑑や受診歴の確認。継続支援
	ATMが通帳を取り込んだまま返却してくれないと窓口に来ている。ATMでとりこまないと説明しても納得されず毎日来店。再発行も続いている。	家族に連絡し、支援を検討した。
	ここのところ毎日「お金がない」と来店される。	家族に連絡し、支援を検討した。
	認知症症状がある高齢者が1日何度も来店がある。	既に関わりがある方。
	「孫にお金を送らないといけぬ」と窓口に来るが名前も住所もわからない。息子、娘のことを聞いてみてもきちんとした返事が返ってこない。関わりはありますか。	定期的に来所される方のため、次回来所された際に包括のパンフレットを渡してもらい、相談につなげてもらうこととする。
	現金を下ろしに来られたが通帳がなく引き出せない。今までも様子が変だったが今日はより一層様子がおかしい。	民生委員等に繋げ、地域で見守りを継続中。
	頻回に来所されていた方が、1週間程度来所されておらず、心配して連絡くださった	安否確認の訪問により、生存を確認した（支援なし）。
	認知症と思われる方がいらっしやる。ご家族に包括に連絡していいか確認済みで了承を得ている。今後どのようにしたらいいか。	介護保険制度を紹介し、サービスに繋げた。
	90代女性。通帳、カードを持たずの出金や支払い期限の過ぎた請求書の支払いを希望され、時折、「長男の世話をしなさいといけぬ」と漏らされ、心配です。	家族に連絡し、支援を検討した。
	週に2回程度郵便局に来られ、強盗が入ったと言われるので困っていると通報あり。	民生委員等に繋げ、地域で見守りを継続中。
	身に覚えのない請求書が来ており、どうしたらいいか困惑していると対応依頼あり	本人と請求先へ問い合わせを行い、対応した。
薬局・薬店（5件）	何度も薬を取りに来るが服薬管理ができていないのでは？	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	支援が必要ではないかと思う人がいる。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	来局されるたびに会話がかみ合わず、内服薬の内容などを理解されていない。	民生委員等に繋げ、地域で見守りを継続中。
	薬を渡した数日後に「もらっていない」とまた来店される。認知症がある様子で独居とのことだが、誰か関わっている機関などあるか？	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	褥瘡の市販薬を2回購入しに来た方に、薬剤師が生活状況聞くと、妻が転倒後に寝たきり。受診してないとのこと連絡あり。	安否確認のため訪問。妻は羸瘦が激しく、褥瘡も仙骨まで露出。同行受診し入院となった。
商店街の各店舗（1件）	色々と悩み事があるようなので、本人に「包括支援センターに相談しては？」と伝えている。一度相談に乗ってもらいたい。	課題は精神疾患を持つ息子さんのようなので、社会福祉協議会につないだ。
医療機関（11件）	今日往診した患者さんが認知症の出現がみられる。妻に介護認定の申請を勧めたので、介護認定やサービスの説明等を行ってほしい。	家族に連絡し、支援を検討した。
	コロナのことがあってほとんど家から出ていない。入浴・食事も心配である。	介護保険制度を紹介し、サービスに繋げた。
	息子さんより医院に連絡あり。本人は食事が1週間とれていないが、医療機関の受診拒否がある。	自宅を訪問し、救急搬送介助。37度発熱ありコロナ抗原検査のみ病院受診。その後帰宅。
	医師がそろそろヘルパーの支援必要だと判断。	申請代行行い、今後サービス検討
	夫から「力が抜けて動けなくなっている」と連絡が入った。状況がわからないので連絡してあげてもらえませんか。	担当ケースであったため、自宅訪問し状況確認後、受診へつないだ。
	受診拒否だった方が、夫と一緒に来院した。今後の支援を一緒にお願したい。	連携支援中
	既往あり生活状況に不安あり、介護認定の申請をお願いしたい。	介護保険申請済だが、サービス利用はせず。

店舗種別（通報件数）	通報例	対応
	診察の結果アルツハイマー型認知症の可能性。本人より申請相談の希望あり。対応願う。	介護認定申請代行
	夫が栄養失調状態で発見され、入院中。夫婦二人とも認知症の疑いあり。こみ屋敷の可能性あり。娘に説明しても理解力がないのか、わかってもらえない。介護保険での介入は可能か？	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	配偶者が亡くなり独居になった人がいる。	民生委員等に繋げ、地域で見守りを継続中。
	患者様の娘様が精神疾患を患っており、どこに金銭管理の相談をしたらよいかわからなかったので、連絡させてもらった。	成年後見制度を紹介。家族を法律事務所に繋ぎ対応を依頼した。
不動産(5件)	最近姿を見かけないと警察経由で相談が入る。	入院されていることが確認できた
	住宅の必要な申請ができていない。連絡もとれない。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
	自治会の催しに参加されるような方が最近姿を見かけなくなったと自治会役員から問い合わせがあった。	本人と連絡がつき安否確認できた。
	近隣住民から玄関の電気がつければなしでチャイムを鳴らしても応答がないと連絡を受けた。	施設に入居していたことが確認できた。
	別棟に見慣れない人が座っていると住民より通報があった。身元はわかったが足も引きずっておられ心配になったので連絡した。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
歯科(1件)	通院している利用者の物忘れや異臭が気になる。	ケアマネジャーに連絡し、支援をお願いした。
その他(2件)	日曜日から自宅の電気がついておらず、新聞も取り込まれていない。自宅で倒れておられないか心配で連絡した。	包括にて継続的に関わりあるケースで、安否確認できている旨伝える。
	70代女性。認知症でこもりがちになっており、家族も心配している。相談ののってあげて欲しい。	本人と家族が来所し、支援の相談を実施。

1. 総合的な方針

<b>ニーズ・課題(前年度)</b>
<p>① ニーズに応じた住まいや、社会資源に対する情報提供の必要がある。</p> <p>② 高齢者が尊厳ある生活を維持し、安心した生活と人権を守るため、消費者被害や虐待などに関し、迅速かつ適切に対応するよう関係機関と連携を図り、被害発生防止、早期発見・早期対応や地域への啓発などが必要がある。</p> <p>③ ひとり暮らし高齢者の増加や家族介護の多様性などから、地域で支援を必要とする高齢者を早期に発見するとともに、地域で支え合う体制作りが必要である。</p> <p>④ 認知症高齢者の増加に伴い、尊厳を持ちできるだけ自立した生活を維持し、住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、認知症の方を支援していく必要がある。</p> <p>徘徊する高齢者の対応については家族や地域住民、医療関係者、介護事業者等、地域社会全体で取り組む必要がある。</p> <p>⑤ 8050問題等の複雑かつ多様化する相談内容に対して、行政、他機関との連携拡充を図る必要がある。</p>
<b>取組方針・目標</b>
<p><b>【地域包括ケアシステムの実現に向けて(地域包括システム構築の推進)】</b></p> <p>① 施設空き情報の集約、社会資源の情報集約と発信</p> <p>② 権利擁護事業の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 高齢者虐待介入ネットワーク会議の開催</li> <li>❖ 高齢者虐待防止のための、地域住民や関係機関、包括内を含めた連携の強化とネットワークの構築</li> <li>❖ 成年後見制度の普及・適切な活用について検討</li> <li>❖ 消費者被害対策の強化及び関係機関との連携の継続</li> </ul> <p>③ 要援護者の早期発見・対応に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 民間事業者との連携</li> <li>❖ 見守り110番事業 活動の充実</li> <li>❖ 地域住民へ地域包括支援センターの周知</li> </ul> <p>④ 徘徊高齢者SOSネットワーク事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 枚方市徘徊高齢者(行方不明者)SOS ネットワーク事業の協力機関拡大を目指す</li> <li>❖ 登録事業所へ意見等を確認し、よりスムーズな情報伝達のシステム構築に努める</li> </ul> <p>⑤ 他機関、多職種との連携の強化</p> <p>他機関連携会議参加</p>

2. 取り組み内容別の方針

チー ム 名	権利擁護チーム（高齢者虐待、成年後見制度の検討チーム）
チー ム 構 成 員	社協こもれび、社協ふれあい、安心苑、みどり、大潤会
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊権利擁護事業に関する取り組み</li> <li>・虐待介入ネットワーク会議の開催。</li> <li>・介護保険事業所等関係機関とのネットワーク強化。</li> <li>・各圏域における虐待防止啓発のちらし、パワーポイント活用した広報活動。</li> <li>・成年後見制度の普及・適切な活用について検討</li> </ul>

チー ム 名	消費者被害対策・事業チーム
チー ム 構 成 員	聖徳園、サール・ナート、松徳会、美郷会、アイリス、パナソニックエイジフリー、東香会
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>＊見守り110番事業</li> <li>・協力機関の拡大や相互協力ネットワーク構築を継続することでさらなる連携強化を図る。</li> <li>＊徘徊SOSネットワーク事業</li> <li>・枚方市徘徊高齢者(行方不明者)SOS ネットワーク事業の協力機関拡大を図り、早期発見のためのネットワークを拡充する。</li> <li>＊消費者被害対策に関する取り組み</li> <li>・消費者安全確保地域協議会への参加とネットワークの強化</li> </ul>